

【オリコンサルらがウェビナー にぎわいを可視化 稼げる施設マネジ議論】

にぎわいを可視化

稼げる施設マネジ議論

オリコンサルらが
ウェビナー

オリエンタルコンサルタンツ、Intelligence Design（東京都渋谷区、中澤拓二社長）、sheme verge（文京区、嶮南達貴社長）の3社は26日、「賑わいづくりとテクノロジー活用…稼げる施設マネジメントとは？」をテーマにしたウェビナーを開いた。

ウェビナーには、オリエンタルコンサルタンツ関東支社の渡部数樹交通政策部次長、AI（人工知能）画像認識技術などを提供するIntelligence Designの末廣大和取締役COO、先端技術の社会実装に強みを持つsheme vergeの嶮南社長が参加した。討論の中で渡部次長は「に

ぎわいをつくるには、単に多くの人がいれば良いというわけではないと感じている」と語り、にぎわいの可視化や定量的な評価のために必要な要素を問い掛けた。

末廣COOは、人流解析の実例も交えて「実際にその場にどれほど留まっていたのかという滞留時間のようなものが、にぎわいを新しく定量化するための情報になるのではないか」と見解を述べた。

嶮南社長は「例えばビルの3階でにぎわっていても、通りから見えなければ歩行者には寂れて見えるかもしれない。誰が見たのかで、にぎわいの受け止め方は変わってしまう」と語った。